

# まち協

2024

地域のまちづくり活動ガイドブック 大津市



大津市市民部自治協働課

## 目 次

まちづくり協議会とは .....	1
特定非営利活動法人わにまちづくり協議会 .....	2
小野学区まちづくり協議会 .....	4
葛川まちづくり協議会 .....	6
伊香立まちづくり協議会 .....	8
堅田学区まちづくり協議会 .....	10
仰木学区まちづくり協議会 .....	12
坂本学区まちづくり協議会 .....	14
下阪本学区まちづくり協議会 .....	16
滋賀学区まちづくり協議会 .....	18
山中比叡平学区まちづくり協議会 .....	20
藤尾学区まちづくり協議会 .....	22
特定非営利活動法人ながらまちづくり協議会 .....	24
平野学区まちづくり協議会 .....	26
富士見学区まちづくり協議会 .....	28
晴嵐学区まちづくり協議会 .....	30
大石学区まちづくり協議会 .....	32
仰木の里学区まちづくり協議会 .....	34
上田上学区まちづくり協議会 .....	35

# まちづくり協議会とは

現在、市内では、地域を取り巻く環境の変化等による地域課題の多様化や、地域のまちづくり活動の担い手不足などに対し、地域の各種団体、事業者、個人などが連携・協力してまちづくりに取り組む場として、地域の実情に合わせて「**まちづくり協議会**」が設立されています。

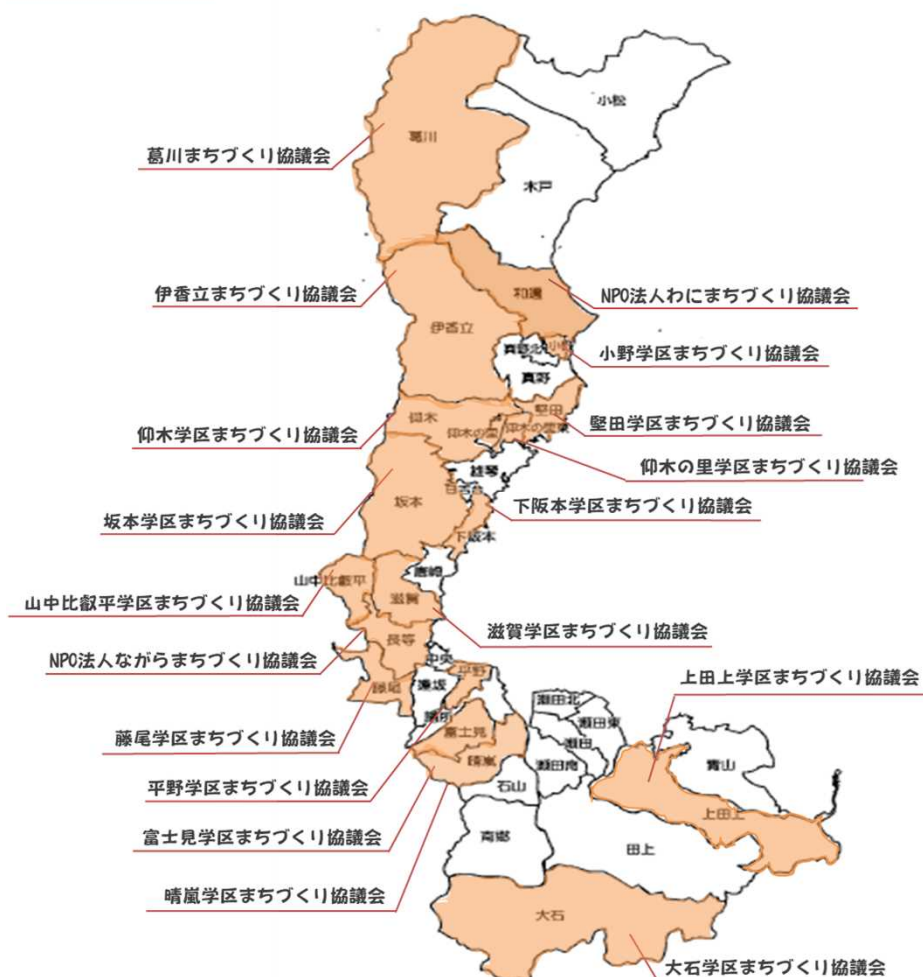
まちづくり協議会は、各種団体や事業者、個人など、地域の多様な主体が課題を共有し、連携・協力してまちづくりに取り組む場、「**地域のプラットフォーム**」となります。

## 地域のプラットフォーム

- ・ 地域の現状や課題、各種団体の活動やまちの将来像を話し合い共有する場
- ・ 多様な主体が参加し、助け合い支え合いながら、まちづくりを行う場
- ・ 誰もが主体的にまちづくりに参加し、まちづくりの担い手を育成する場



## まちづくり協議会一覧



## 設立のきっかけ

和邇学区では、自治会加入率が約65%まで減少しており、住民の1/3が非会員のため、既存の自治連合会では学区全体のことを考えていくことに限界がありました。

また、少子高齢化の進行、人口減少をはじめ、身近なところでは自治会役員、各種団体の担い手不足、地域活動に関心を持たない人の増加など、地域の課題は増える一方でした。

このまま何も対策を立てないと災害時等で大きな被害を生む可能性があり、地域として様々な課題に対応できる新しい仕組みを考え、組織を転換していく必要があることからまちづくり協議会の設立を検討しました。

### 基本情報・組織図

設立年月	令和2年4月
活動地域	和邇小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 ”住み続けたいまち和邇”</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 防犯・防災に対応できる安心安全なまちづくり</li> <li>2 人と人とのふれあい溢れる住み続けたいまちづくり</li> <li>3 健康で自然・歴史・文化豊かなまちづくり</li> </ol>
組織図	<pre> graph TD     A[総会] --- B[運営委員会]     A --- C[会計監事]     B --- D[事務局]     D --- E[安全部会]     D --- F[健康・福祉部会]     D --- G[教育・子育て部会]     D --- H[学び部会]     D --- I[地域振興部会]         </pre>



# まちづくり協議会の 取り組みについて

特定非営利活動法人  
わにまちづくり協議会

## 活動事例

### 歴史衣装行列 遣隋使 小野妹子祭り

小野妹子の故郷で歴史の町であることにちなみ、毎年11月に「妹子祭り」を開催しています。囃し太鼓とともに遣隋船に乗った歴史衣装行列が町の中を通ります。

また、志賀中学校吹奏楽部による演奏、和邇小学校の児童や地域住民によるステージ発表、露店などで大いに盛り上がりしました。



【お断り】表記時刻・配属団体名等は変更する場合がございます。ご容赦願います。



### コミュニティバスの運行

公共交通機関の大幅減便により“住民によるコミュニティバスの運行”をはじめました。住民目線のルート設定やLINEでの運行情報の配信など、利便性にも配慮し、毎日50名あまりの利用があり、累計利用者数は約2年半で2万2千人を突破しました。

コミュニティバスの運行担当者からは「利用者との交流やありがたい一言が力になっている」、利用者の方からは「通院や買い物など外出ができています」とまさに生活を支える存在になっています。

### コミセン 事業風景



夏休みカヌー体験



わにあぐり教室



しめ縄作り



クライミング体験

# 小野学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

小野学区は、多くの神社や古墳群があり、古い歴史と伝統を持つ地域であるとともに、小野妹子公園からは、眼下に琵琶湖を一望できるなど、湖と緑に囲まれた落ち着いた地域です。

分譲開始から45年が経過し、人口のピークであった2001年から人口が減少するとともに、高齢化率も48.8%と高く、逆に幼年率は6.4%と低い水準となるなど、大津市の中でも少子高齢化が最も顕著な学区の一つとなっています。

このことから、地域のまちづくりについては課題も多く、自治会運営については活動の継続性が困難な状況にあります。しかし、「まちづくり協議会」を通して、課題に対応するための組織改革や各種団体ごとの類似事業の整理、見直しを進め、協働で取り組むことが、今の課題解決の糸口になるのではないかと考え設立に至りました。

有能な人材も多い地域であり、またコミュニティスクールでの小学校との連携も深いことから、新たな人材や子どもたちが参加できる事業を検討するなど、誰もが健康で、繋がり合い、安心して生き生きと暮らし、このまちに住んでよかったと思えるまちづくりを目指していきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和4年4月
活動地域	小野小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 みんな元気で 住みつづけたくなるまちづくり</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 向こう三軒両隣 ひとが繋がるまちづくり</li> <li>2 安心安全なまちづくり</li> <li>3 学び ふれあい 支え合う 元気なまちづくり</li> </ol>
組織図	<pre> graph LR     A[総会] --- B[運営委員会]     B --- C[会計監査]     B --- D[地域活性部会]     B --- E[安心安全部会]     B --- F[学び・健康・子育て部会]     B --- G[事務局]     G --- H[小野コミュニティセンター管理運営]         </pre>



# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 小野学区 まちづくり協議会 活動事例



### 第3回小野っ子&地域が元気で つながりたい! スタンプラリー

小野学区の子どもたちを対象に、仮装をした子どもたちが6つの自治会館、コミュニティセンターを廻り、各会場でお菓子をもらうスタンプラリーを開催しました。



それぞれの施設が災害時の避難場所であり、防災倉庫も設置されていること、日頃は地域住民の活動の場になっていることを楽しみながら学ぶことができました。

今年は、子どもたちと一緒に参加した大人の方々も仮装し楽しんだり、小学校の教員の方々も飛び入り参加され仮装しゴールでイベントを盛り上げていただくなど回を重ねて地域に定着したイベントになってきました。

減少傾向にある子どもたちと高齢化が進む小野学区住民が、イベントを通じて元気につながり、再び立ち上がるきっかけづくりになりました。



実際に古墳の調査をされている方を講師に、小野の地理的な特徴や真野古墳の発掘模型を示しながら、古墳の作り方、埋蔵品の意味や位置、推察される埋蔵者像など研究成果を話され、参加者から活発な質問を誘いました。

また、現地真野古墳では講演の内容を実際に確認でき、唐白山古墳ではまだ調査未了であるが、現状の露出している石から推察される横穴式石室の説明を受け、質疑応答などにより講師や参加者どうし交流の輪が広がりました。

### 健康 講座

琵琶湖大橋病院に協力いただき、現役医師による講演で、認知症についてわかりやすく時にはユーモアを交えた話し方に参加者は熱心に聞き入っていました。

また、講演後の簡易検査（動脈硬化チェック等）を受診し、結果について看護師からご指導を受けました。自分の認知症予防だけでなく地域として認知症の方への接し方も学べた事は、今後の生活に活かされることと期待しています。



# 葛川まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

葛川学区では保育園がなくなったり、公共交通が減便されたりという現状に対し、学区として非常に危機感を感じていました。以前は、こういった地域の課題に個々に対応していましたが、これからは総合的なまちづくり計画を立て、その計画に基づいたまちづくりをしていかなければという考えになり、住民アンケートを実施してアンケート結果をもとにまちづくり計画を策定しました。まちづくり計画を実行するため平成30年度にまちづくり協議会を設立（市への届出は令和2年度）し、以後、移住促進やカーシェアリングなど様々な事業に取り組んでいます。

### 基本情報・組織図

設立年月	令和2年7月
活動地域	葛川小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 居住人口500人程度の美しい清流と緑に囲まれた、移り住みたい、住み続けたいまちを目標とする。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人口の維持・増加</li> <li>2 住環境の整備・改善</li> <li>3 地域性を活かしたまちの活性化</li> </ol>
組織図	<pre> graph TD     A[総会] --&gt; B[運営委員会]     B --&gt; C[役員会]     C --&gt; D[事務局]     C --&gt; E[専門部会]     E --&gt; F[総合まちづくり部会]     E --&gt; G[ささえあい福祉部会]     E --&gt; H[地域の安心・安全部会]     E --&gt; I[つながる人の輪人材育成部会]     E --&gt; J[地域おこし広報部会]         </pre>



# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 葛川学区 まちづくり協議会 活動事例

### 葛川学区 文化祭 事業

コミュニティセンターでの作品展示のほか、新しい試みとして葛川茅葺きの家を、お茶席やゲリラライブ、ワークショップ、コーヒーや食品、作品などの販売を行うイベント会場として利用しました。



文化祭初日には日曜日に開催している『葛の里祭り』も同時に開催しました。  
入場者数が約200人となる盛況ぶりで、高齢者と若い世代との世代間交流にもなりました。

## 葛川歴史講座開催

### 地域の歴史を 知る講座



葛川の歴史を古代から中世、近代、戦後と紐解いていく講座を全3回で開催しました。仏教大学非常勤講師 葛野 常満氏、大津市歴史博物館学芸員 高橋 正樹氏、大津市市民部文化財保護課 和田 光生氏をそれぞれ講師でお迎えし、文化や物流、仏教など様々な視点からみた葛川の話、古地図などの資料もまじえながら伺いました。とても濃い内容で、もともとの地域の方も、移住されてきた方からも沢山の参加がありました。このほか葛川の様々な団体の事業、事務、イベント、講演会のサポートを行っています。



# 伊香立まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

伊香立学区では、住民主体のまちづくりを推進するため、地域住民が集まり、交流するための活動拠点が必要であると考え、まちづくり協議会を設立し、コミュニティセンターの管理運営を行うこととしました。

運動会や文化祭に関しても、これまでは自治連合会が担っていましたが、まちづくり協議会の取り組みとすることで、団体の負担軽減や新たな参画者を募ることが可能であると考えました。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和2年4月
活動地域	伊香立小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 ～結ぼう伊香立 つなごう未来へ～ 地域の中で支え合い、安心していきいきと、最期まで住み続けられるまち 伊香立</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくり</li> <li>2 人と人が支えあい思いやりと愛があふれる健やかなまちづくり</li> <li>3 地域を愛し、地域に根付く人材を育て活力あるまちづくり</li> <li>4 歴史・文化を継承し、ゆたかな自然環境にあふれるまちづくり</li> </ol>
組織図	<pre> graph TD     A[伊香立まちづくり協議会] --&gt; B[総会]     A --&gt; C[監事]     B --&gt; D[運営委員会]     D --&gt; E[事務局]     E --&gt; F[伊香立コミュニティセンター 管理運営]     D --&gt; G[地域安全・安心部会]     D --&gt; H[ふれあい福祉部会]     D --&gt; I[人材育成部会]     D --&gt; J[地域振興・環境部会]         </pre>



# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 伊香立学区 まちづくり協議会 活動事例

### 伊香立ふれあいのつどい

#### 文化祭 & マルシェ

香の里いかだちの秋の恒例行事『伊香立ふれあいのつどい ~文化祭&マルシェ~』を開催しました。今年は地域の人たちのふれあいの「場」づくりをテーマに行いました。

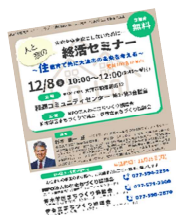
10月31日から11月3日にかけて催した文化祭作品展では、今年も学校園や福祉施設ほか、地域にお住まいの皆さんの素晴らしい作品を多くの方にご覧いただける機会となりました。

また11月12日には第3回いかだちマルシェを開催、過去最多約10,000人のご来場をいただきました。会場となった伊香立公園には、地元在住や出身の方を中心に90以上のブースが並び、特設ステージでは地域の8団体が歌やダンスを披露され、活気あふれるイベントになりました。

なお、当日の様子は伊香立公式HP ([https://ikadachi.jp/event/festival\\_2024/](https://ikadachi.jp/event/festival_2024/)) で公開していますのでぜひご覧ください。



参加・来場者数	
文化祭作品展	
出展者数	団体15グループ 個人16人
来場者数	480人
マルシェ	
出店者数	93店舗
ステージ 発表	団体8グループ
来場者数	10,000人



#### 3学区まち協合同 空き家対策事業

#### 『実家を空き家にしないために… 人と家の終活セミナー』



今年度より、仰木学区まちづくり協議会とNPO法人わにまちづくり協議会との3学区合同で空き家対策事業を立ち上げ、空き家啓発パンフレットの製作と配布を行いました。

また、12月には関東で住教育や古民家再生をされている杉本氏を講師にお迎えし、空き家について考える『人と家の終活セミナー』を開催しました。

3学区民以外に近隣学区にお住まいの方など約70名がお越しください、「大変ためになった」「家族と話す、いいきっかけになりそう」などうれしいお声を多数いただきました。





# 堅田学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

堅田学区は大津市の西北部地域の中心的な地域であり、現在は人口減少の時代ではありますが、小学生が1,000人に迫る状況であり、若い世代の増加が地域の活性化にも結び付くと考えています。

しかし、古くからの琵琶湖岸に沿った歴史あるまち並みを有する地域の高齢化は進んでおり、この地域の少子高齢化や核家族化も進んでいます。そして、空き家も少しずつ増えている状況であります。

そうした背景のもと、まちづくりの課題を集約するために、2年あまり各種団体や自治会と共に討議を重ねた結果、担い手の更新や高齢化などの問題を指摘する意見が多数あり、後継者の育成が課題であることが浮き彫りとなりました。

このようなことから、まちづくりの全体を見渡した組織・事業体系の見直しを各種団体がゆるやかに連携することを検討し、地域の力を充実させ、暮らしに魅力がある持続可能なまちづくりに向けての取り組みや仕組みづくりが必要と考え、まちづくり協議会の設立に至りました。

### 基本情報・組織図

設立年月	令和5年4月
活動地域	堅田小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 堅田の歴史に根付く自然や文化の資源を活かしつつ、地域住民との交流を通じて、活力のあるまちづくりを推進し、地域の繁栄と愛着を育むことができる堅田のまちづくりを目指します。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域住民が安心・安全に暮らせるまちづくり</li><li>2 子育て・教育を通じてのふれあいまちづくり</li><li>3 地域住民の健康と福祉を共に考えるまちづくり</li><li>4 歴史・文化の伝承と地域振興によるまちづくり</li></ol>
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

堅田学区  
まちづくり協議会  
活動事例

## 湖西線開通50周年 記念事業



おおつ光ルくん  
堅田駅に参上



## 紫式部ラッピング



7月20日(土)湖西線開通50周年記念事業が開催されました。

堅田駅では応募した小学生と保護者が堅田駅のホームで、記念列車「びわこおおつ紫式部とれいん」に旗を振りながら出迎えました。

7分間停車しドアは開きませんでした、列車6両にラッピングされた紫式部をまじかに見ることが出来ました。

旧堅田駅前区画整理事務所で～堅田にあつマルシェ～とJR西日本特別ブース、飲食ブース、湖上遊覧船運航案内等楽しい催しとなりました。

## 堅田湖族まつり

8月31日(土)に第41回堅田湖族まつりの開催に向けて準備しましたが、台風の影響で行事を縮小し「花火」と「湖族の灯り」を9/7に実施しました。



いざよい(十六夜)シンポジウム  
2024. 9. 18



# 仰木学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

比叡山から琵琶湖の西岸へと伸びる雄大な山麓に位置する仰木学区は、立体感のある雄大な棚田が広がり、人と自然が織りなす里山の生活が息づいています。また、多数の社寺や幾つもの重要文化財が点在するとともに、仰木太鼓や仰木小唄など無形文化財も継承されており、恵まれた自然、歴史・文化が豊かな地域です。

地域のまちづくりの現状として、人口減少、少子高齢化、核家族化、青年層の流出が進むなど、地域の現状が変化する中、アンケート調査では、各種団体における担い手不足や、高齢化などの問題を指摘する団体が多く、後継者の育成が課題であることが浮き彫りとなりました。

このような意見を背景に、まちづくり全体を見渡した組織・事業体系を検討し、地域の力を充実させ、暮らしに魅力がある、持続可能なまちづくりに向けての取り組みが必要となっています。

地域の子どもを見守り育てる活動や、高齢者世帯を地域全体で見守る活動、災害時の取り組み、さらには高齢者の社会参加、居場所づくり、世代間交流の取り組みなどについて、情報を共有し、各種団体がゆるやかに連携しつつ、課題解決に取り組むため、「まちづくり協議会」の設立に至りました。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和3年12月
活動地域	仰木小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 仰木に息づく自然・文化の資源を活かしつつ、地域及び近隣の住民との交流を通じて、活力のあるまちづくりを推進し、愛着と誇りを抱くことができる仰木のまちづくりを目指す</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくり</li><li>2 子育て・教育を通じてのふれあいまちづくり</li><li>3 住民にやさしいまちづくり</li><li>4 里山・棚田の恵みと歴史・文化を後世に伝えるまちづくり</li></ol>
組織図	



# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 仰木学区 まちづくり協議会 活動事例

ふれあい仰木

夏まつり



仰木太鼓によるオープニング  
各種団体の協力による模擬店やお楽しみコーナー  
キッズバンドのかわいいまたカッコイイ演奏♪  
子どもお楽しみ抽選会は大盛況！  
仰木小唄、江州音頭の踊りの和  
子どもからお年寄りまでが共に楽しんだ  
ふれあい夏まつりとなりました。



## 防災訓練

防災倉庫の備蓄品の点検と災害時に対応できるよう操作も体験。起震車では能登半島地震を再現した震度を体験し、その大きな揺れに恐怖を感じました。

講演では大津市ボランティアセンター長の丸山忠司さんの能登半島災害報告を聴き、災害の現実を学びました。炊き出し訓練も実施し充実した訓練となりました。



田植え



## 仰木棚田体験学習

近隣の小学生を対象に琵琶湖を望む上仰木棚田にて田植え体験・田んぼの生きもの調査・稲刈り体験をしました。  
普段は何気なく目にする田んぼで新しい発見がたくさんありました。  
この仰木の環境を大切にしていきたいです。



稲刈り



生きもの調査



# 坂本学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

令和6年4月1日現在、自治会加入率が38.4%と平成23年の54.5%と比較すると人口は増加しているにもかかわらず減少傾向にあります。要因としては、地域の枠組みに捉われない世代が増加したことや、ライフスタイルの様変わりが関係しているのではと考えます。

この状況下のもと、地域住民全員が協力できるよう、地域のまちづくりの原点である自主性、自立性、相互理解の下、学区全体の目標や地域活動の目的の共有を図り、持続・継続可能なまちづくりを展開しなければならないと考え、学区単位でのまちづくり協議会の設立に至りました。

「みんなで支え合い、みんなでつくる笑顔のあふれるまち」を地域の将来像として定め、坂本学区の総意を結集し、地域全体の意向を決定する組織としてまちづくり協議会を位置付けます。

比叡山延暦寺、西教寺、日吉大社といった地域資源にある坂本の歴史と文化を活かし、共存共栄を図るとともに、安心安全で住みよい、活力あるまちづくりの構築を目指していきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和3年4月
活動地域	坂本小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 みんなで支え合い、みんなでつくる笑顔のあふれるまち</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 安心・安全なまちづくり</li><li>2 次世代へつなぐ地域での人材づくり</li><li>3 高齢者や子どもがいきいきとしたまちづくり</li></ol>
組織図	



# まちづくり協議会の 取り組みについて

坂本学区  
まちづくり協議会  
活動事例

## 夏休み 子ども教室



小学生の子どもとその保護者を対象に、ものを作る喜びに触れ、創造性や持続性を高める体験ができました。



・陶芸教室  
・工作教室  
・理科教室



夏休みという環境の中で、講師や助手を務める地域のボランティアの方の支援のもと、地域の方々など、様々な触れ合いを通じて、子どもたちの社会性を育む良い経験になりました。



## 山椒吹き講座

大人気の企画  
坂本の  
ソウルフード

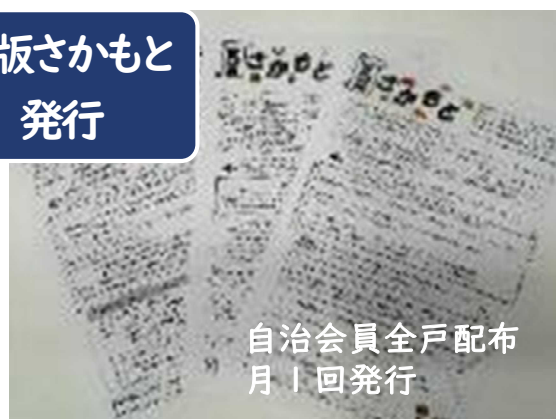


## 文化講座 「坂本銭」



比叡山坂本周辺の歴史背景ならびに、「寛永通宝坂本銭」についての学習会をワークショップ形式で実施しました。

## 瓦版さかもと 発行



自治会員全戸配布  
月1回発行



# 下阪本学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

下阪本学区は、比叡山と琵琶湖に囲まれて、豊かな歴史と文化、また自然にも恵まれたまちです。そのため、京阪神のベッドタウンとして人口が増え続けている反面、少子高齢化や社会の変化等に伴う課題も山積しています。

一つは、自治会加入率の低下です。近年、「地域活動に関心がない」「関心があっても事情があって、まちづくりに参加することができない。」といった方が急増し、地域とのつながりが弱体化してきています。そのため、自治会役員や各種団体の担い手が不足するとともに、固定化、高齢化しており、これまで続けてきたまちづくりの取り組みを継続することが難しくなってきました。

地域として人間関係の希薄化や、高齢福祉活動の維持、災害に強いまちづくりの推進といった課題にどのように向き合うかを検討する中で、これからは各種団体個々が対応するのではなく、横断的に活動することが必要と考え、新しい仕組みとして「まちづくり協議会」を設立するに至りました。

「地域の力、絆を深めて住みよい下阪本」を目指し、住み続けたいまち、持続可能なまちづくりを基本方針として、まちづくりに取り組んでいきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和4年4月
活動地域	下阪本小学校区域
まちづくりの基本方針	<b>【地域の将来像】</b> 地域の力 絆深めて 住みよい下阪本 <b>【基本方針】</b> 1 防災に強いまちづくり 2 にぎわいづくり 3 人づくり
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 下阪本学区 まちづくり協議会 活動事例



### 下阪本学区 秋まつり



下阪本小学校創立150周年事業と同日開催ということもあり、3,500人以上の方が参加されました。

今回ステージを組み立て、出演者も6組と過去最多、若い世代が目立ちました。

模擬店は飲食だけでなく遊び場も充実し、大変盛り上がりしました。

「坂本城三の丸石垣」の発掘で話題の渦中、特別に公開していただきました。

幼稚園児・小学生約30名、総勢約70名の参加数となり、文化財保護職員の岡田氏による現地説明に、皆真剣に耳を傾けていました。

その後コミュニティセンターに移動し、さらに詳しい解説で遺跡発掘への理解を深めました。

教育・福祉部会のメンバーによる〇×クイズもあり、親子ともに楽しめました。



### みつはまファミリーウォーク



### 親子まち歩きウォッチング

地域安全部会が新たに発足して初めてのイベントです。来年度小学校入学されるお子さんを中心に、通学路の危険箇所を親子で確認してもらう試みです。

オープニングでは坂本交番の方にパトカーで来ていただき、写真撮影をしました。

地域安全部会のメンバーと共に、親子で各方面の通学路を歩きながらスマホで年齢別の交通安全クイズに挑戦しました。



### 防災 訓練



自治連合会・自主防災会との共催で実施されました。

また防災部会では毎年、幼稚園や小学校で「防災教室」を開催し、地域の防災に対する意識向上に貢献しています。

### 下阪本 鯉のぼり まつり

地域の方から提供していただいた鯉のぼりと、幼稚園・小学校の子どもたちが制作した鯉のぼりを掲揚しました。GWにはたくさんの方が訪れ、大変にぎわいました。



# 滋賀学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

滋賀学区は多数の古墳群や遺跡が存在するほか、近江大津宮跡をはじめとした数々の史跡など豊かな歴史遺産があり、四季を通じて多くの人々が訪れる観光地であるとともに、多数のマンション建設や住宅開発により急激に人口が増加し、市内でも有数の住宅地帯でもあります。

地域のまちづくりにおいては、核家族化や価値観の多様化などにより自治会に加入しない世帯や、活動に参加する人の固定化、役員の担い手不足などが生じてきていることから、自分たちの住むまちの特性や歴史・文化を活かしたまちづくりを進め、地域が抱える課題解決に取り組む必要が出てきました。

このために、自治連合会、自治会、各種団体をはじめ、事業所や個人などを構成員としたまちづくり協議会を設立し、地域の現状や課題を見据え、学区民のニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを実現するための活動指針であるまちづくり計画書に基づき、各種団体等が行う事業とまちづくり協議会が行う事業を調整しながら、互いに連携しまちづくりに取り組んでいきます。

### 基本情報・組織図

設立年月	令和3年12月
活動地域	志賀小学校区域
まちづくりの基本方針と分野別の目標	<ol style="list-style-type: none"><li>1 安心・安全なまちづくり<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者と子どもが安心して暮らせる環境づくり</li><li>・犯罪のないまちづくり</li><li>・交通事故のないまちづくり</li><li>・災害の無いまちづくり</li></ul></li><li>2 誰にもやさしいまちづくり<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者にやさしいまちづくり</li><li>・子育てのしやすいまちづくり</li></ul></li><li>3 歴史と文化あふれるまちづくり<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史遺産と観光地を巡る観光ルートの整備</li><li>・大津山辺の路(仮称)の整備</li><li>・柳が崎湖畔公園の整備・活用</li><li>・地域住民に親しまれる文化祭の開催</li></ul></li><li>4 絆の深まるまちづくり<ul style="list-style-type: none"><li>・自治会(自治連合会)加入促進の取組</li><li>・地域行事の担い手育成</li><li>・住民相互の交流機会の拡充</li><li>・健康づくり</li></ul></li></ol> <p>※専門部会については必要に応じて基本方針に応じた部会を設ける</p>



# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 滋賀学区 まちづくり協議会 活動事例



### 滋賀学区 ふれあい 文化祭

今年は「創り出そう滋賀の魅力」をテーマとして、ステージ発表はブランチ大津京会場、作品展示は滋賀コミュニティセンターの2会場で開催しました。

また、ステージ発表同日に開催された地域まちづくりスポットの防災イベントにも協力しました。



今年は、地域情報発信のベースとなっている「まちづくり協議会公式LINEアカウント」の友だち登録の大幅増を目標として、新たに友だち登録をされた方を対象に抽選会を行いました。その結果、友だち登録者は約3倍になり大幅な増加となりました。

作品展示会場では園児や地域の方々・個人出展の力作も増え、多くの来場者の目を引き付けました。

ステージ発表では、昨年と同様に大津商業高校放送部に司会進行の協力をいただき、フィナーレは皇子山中学校吹奏楽部の演奏で幕を閉じました。



### 瀬田川 リバークルーズ

高齢者の健康促進と心に残る思い出作りをテーマにチャーター船を利用して瀬田川リバークルーズを開催しました。参加者の皆さんは船内でお弁当を楽しみ石山寺の散策をされました。

### 百人一首の紫式部など 大津ゆかりの歌、 そのくずし字を読む



くずし字で書かれた百人一首から大津にまつわる地名や人物の歌を抜き出し読み解く講座を開催しました。百人一首の成立や藤原定家と大津の関係、源氏物語が書かれた時代背景などを学び、くずし字を紐解いていくことで歴史あふれる滋賀に愛着を持ってもらうことができました。

### おへその 教室



今の時勢に合った性教育講座を5回シリーズで開催し、からだにおへそがある意味などを絵本やビデオ、ゲームを交えて親子で学びました。

# 山中比叡平学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

山中比叡平学区は、中心市街地からみて遠隔地にあることから、公共交通の問題や、高齢化が進むことによる介護問題、生涯教育などについては地域が連携して取り組む必要があります。

比叡平小学校は児童数が少なく、子どもたちが得られる情報量が少なくなりがちであることから、地域ぐるみで学校支援をしていくためにもまちづくり協議会が必要ではないかと考えました。

また、少子高齢化が進む中で、持続可能なまちづくりを進めていくためには、組織の統廃合なども含め、今から将来を見据えた対応が必要であると考え、まちづくり協議会を設立しました。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和2年2月
活動地域	比叡平小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 みんなで支え合い、みんなでつくる笑顔のあふれるまち</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 安心安全なまちづくり</li><li>2 高齢者や子どもがいきいきしたまちづくり</li><li>3 次世代につなぐ地域人材づくり</li></ol>
組織図	



# まちづくり協議会の 取り組みについて

山中比叡平学区  
まちづくり協議会  
活動事例



学区の交流事業として、ハロウィンイベントを開催しました。

密にならないよう3日に分けて実施し、地域住民のボランティアの方の熱心な活躍もあり、紙芝居や手品ショー、スタンプラリーなどに子どもたちも積極的に参加してくれました。

家族参加も多く、様々な世代との交流イベントになりました。



## コミセン マーケット

コミュニティセンター主催の教室や体操、会議等で、一日中人々が訪れ、コミュニティセンターににぎわいがうまれています。

2か月に一回開催をしている「コミセンマーケット」も、回を追うごとに店数も増え、お店も多様化してきました。



## 広報紙 「やまひ日和」の発行

コロナ禍で中止が相次いだイベントを少しずつ再開したり、空家空地問題、小学校と連携した学校林の保全活動、また、公共交通対策などに力を入れて取り組んでいます。

このような活動は、毎月の月報発行により、住民へ広く周知しています。





# 藤尾学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

藤尾学区は、国道1号線あるいは西大津バイパスで京都へ向かう交通の要衝ではありますが、二つの幹線道路で地域が分断されており、日常的な地域の連携が難しい学区でもあります。住民の方の通勤先や買い物等の生活圏は京都になっており、中学・高校へ通う生徒以外は暮らしや行政面において大津市から孤立していると感じる人もいます。

隣接する山科区ではマンション建設なども盛んですが、藤尾学区では人口減少、また少子高齢化が進み、子どもの数も減っている状況です。

そのような中、平成27年に公立幼稚園の統廃合問題に直面し、各種団体の代表者で「藤尾幼稚園を考える会」を発足し、保護者や地域の声をまとめ大津市に要望を出した結果、園は閉園となりましたが、私立のこども園が開園しました。

このような取り組みをきっかけとして、今後も、地域の現状や課題を共有し、みんなの意見を地域の声としてまとめ課題を解決していく場が必要と考えまちづくり協議会を設立しました。

藤尾学区の住民がいつも親しく心を通わせ合い、「毎日の暮らしが楽しいまち」「住むことに魅力を感じられるまち」、「安心してくらせるまち」にすることを目標に、各種団体をはじめ、学校園、PTAの皆さんとも連携してまちづくり活動に取り組んでいきたいと考えています。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和3年10月
活動地域	藤尾小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 誰もが魅力を感じて住みたくなるまち、毎日を安心して楽しく暮らせるまち</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 人々の心がふれあい、毎日の暮らしが楽しいまちづくり</li><li>2 地域の歴史を大切に、文化・スポーツを育むまちづくり</li><li>3 子どもにも高齢者にもやさしく、安全・安心なまちづくり</li></ol>
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

藤尾学区  
まちづくり協議会  
活動事例

## ふじお マルシェ



キッチンカー、地域で活躍されている事業者、学区周辺で人気のお店にご協力をいただき、本年度も春、秋に「ふじおマルシェ」を開催。

消防士体験や、バンド演奏でお楽しみいただきました。秋の開催は学区文化祭同時開催とし、子どもから高齢者までが楽しめるマルシェとなりました。多くの方に来場いただきました。



## 介護のいろは

関心の高い「介護」について、市社協、中あんしん長寿相談所、高齢者施設の方々にご協力いただき「介護のいろは」を定期的に開催しています。講師を招いての講演、また介護についての普段からの悩みや相談などを話合う場を設け、介護コミュニケーションを図っています。

## 憩いの場 藤尾



地域の憩いの場として藤尾奥町の普門寺を会場に「憩いの場藤尾」を開催しました。

健康相談ブース、カフェブースを設け、子どもも大人も集える楽しい場所づくりを企画しました。

## 広報 活動

まちづくり協議会活動、また学区の情報を紹介し、藤尾の魅力を発信しています。

<https://fujioacc.com/>



## 藤尾学区 まちづくり協議会

住所  
大津市横木 2 丁目 4-1  
藤尾コミュニティセンター内

TEL  
077-522-3877

WEB  
<http://fujioacc.com>



こちらの QR コードから  
読み取ってください

ご登録をお願いします！

2024.10～

ホームページ



# 特定非営利活動法人 ながらまちづくり協議会

## 設立のきっかけ

自治会の加入率が低下し、自治会活動に対する担い手不足や財源不足等、様々な課題が発生する中、自治会活動をはじめ、地域の各種団体においても事業を継続することが困難となってきていました。

そんな中、将来の担い手育成に繋がるような、新しい住民が参加できるコミュニティや地域の自主事業に取り組める組織等の必要性を感じました。

現状のまま何も手を打たなければ、現在の活動を維持することすら難しいことから、各種団体や事業者等と連携し、横断的な組織運営の中で効率的に取り組む必要があると考え、まちづくり協議会を設立しました。

### 基本情報・組織図

設立年月	平成30年6月
活動地域	長等小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 地域課題の解決に向けて、また、学区のさらなる発展と活性化に向けて、学区民や各種団体が相互に連携・協力をしながら、3つの基本方針により、まちづくりを行う。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 誰しものが明るく元気に安心して暮らせるまちづくり</li> <li>2 地域住民間の交流により、絆深まるまちづくり</li> <li>3 地域の資源を活かした、活気と魅力あふれるまちづくり</li> </ol>
組織図	<pre> graph TD     A[総会] --- B[理事長]     A --- C[監事]     B --- D[専務理事]     B --- E[副理事長&lt;br/&gt;(5名)]     D --- F[事務局]     E --- G[体育・文化&lt;br/&gt;部会]     E --- H[防災部会]     E --- I[福祉部会]     E --- J[青少年部会]     E --- K[総務・広報・自治会&lt;br/&gt;部会]         </pre>

# まちづくり協議会の 取り組みについて

特定非営利活動法人  
ながらまちづくり協議会

## 活動事例

### 親子防災 体験キャンプ

地域の子どもたち、保護者と一緒にテント設営や野外炊事、避難時を想定した体験キャンプを実施しました。



当日は、学区自主防災会から防災グッズ等についての説明を受け、実際に防災無線の使用体験や土嚢づくり、火おこし体験を行い、災害発生時の対応を学習するとともに、防災非常食の試食、試飲等を行いました。

今回の体験キャンプを通して、災害発生時に役立つ知識等の習得につながったとともに、テントでの宿泊体験は、親子の触れ合いの機会となりました。



### ながらパーク モール構想

### 住民主導で楽しいイベント！

NPO法人ながらまちづくり協議会では設立以来、次代を担う子どもたちと共に、地域、小、中連携事業として（長等小学校7年、皇子山中学校5年）協働のまちづくりの取り組み、長等小ではながらプロジェクト（皇中では6年目）夢づくりプロジェクトで子供達の視点で考えるながらの活性化に結び付く様々なまちづくり提案をいただいて、ながらまちづくり協議会ともにその実現に向け活力ある街「ながら」の実現に向け協働のまちづくりに取り組んで参りました。

提案の中でもっとも多くは、ながらの恵まれた自然、歴史、文化の調和したながらの特性、財産を活かした、多くの人たちが訪れ、賑わいと交流を広げ活力を生み出す回遊ネットワーク形成のまちづくりが提案されました。

本年、その提案の実現を目指し取り組みとして提案内容を活かした「ながらロマン古道」の再生をテーマにながら回廊実現に向け取り組んで参りたいと考えております。

また、「ハロウィン事業」「はたるの育成事業」「子どもたちによる桜の植樹」など、様々なイベントを実施しています。





# 平野学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

地域では各種団体の高齢化が進み、組織の存続、活動の継続が困難になってきていることから、個々に活動するのではなく、それぞれの活動を共有する場、横断的に活動を考えていく場が必要となってきました。

そういった背景から、地域内の問題点や課題を抽出するために「ひらの円卓会議」を定期的を開催していました。しかし、課題抽出の議論はできているが、それらの課題を解決するための活動の展開に繋がらなかったことから実行部隊としてまちづくり協議会を設立しました。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和2年5月
活動地域	平野小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 多様な人財と環境を生かして、みんなで創る元気で住みよいまち“ひらの”</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 安全で安心できる平野にしてい</li><li>2 高齢者が元気に暮らせる平野にしてい</li><li>3 子どもと子育てにやさしい平野にしてい</li><li>4 にぎわいのある平野にしてい</li><li>5 地域の歴史・文化や自然の景観を誇れる平野にしてい</li><li>6 便利で快適な、環境にやさしい平野にしてい</li><li>7 多世代が交流する、ふれあいのある平野にしてい</li><li>8 いつまでも元気で明るい平野であり続ける</li></ol>
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 平野学区 まちづくり協議会 活動事例

### ひらの まつり

平野学区まちづくり協議会主催で「ひらのまつり」を開催し、延べ4,000人がイベントを楽しみました。

開催にあたっては、地域の学校園、商店街や事業者の方などみなで協議をして進めることができ、平野学区としてまちづくりの輪が広がったと感じました。



### ひらのマップづくり ワークショップ



平野学区では、平野の魅力や資源を活かして何ができるかを考えるためのワークショップを開催しました。

平野学区出身の大学生の方などに協力いただき、これまで平野で取り組んできた住民が中心となった活動を共有したうえで、今後、住民が主体となって何ができるかをテーマにグループで意見交換をしてもらいアイデアを出してもらいました。

平野について学び、思いを巡らせるワークショップとなり、今後は提案してもらったアイデアを参考に、具体的な取り組みにつなげていければと考えています。





# 富士見学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

富士見学区は、富士見小学校が新設されたのを機に、膳所、晴嵐の両学区から分離、独立し、新学区として発足しました。地域には、東に茶臼山古墳、西に園山古墳群、背には緑深き音羽山系を有する丘陵に広がる住宅地となっており、数年ごとの小規模開発で、新しい自治会が設立されたり、子育て世代の転入によって学校園の園児、児童の減少になんとか歯止めがかかっている状況です。

まちづくりにおいては、住民一体となって開催される「学区ふれあい夏まつり」や、「市民運動会」、各自治会の「ふれあいサロン」、各種団体主催による「寺子屋プロジェクト」「子ども食堂」、「ホテルの里をつくる活動」など、多岐にわたり事業を実施しています。

このような現状の中、新しい自治会と、従来の自治会が混在し、課題も多様化していることから、今こそ、若い人たちの推進力と中高齢者の経験を総動員し、学区全体が一丸となってまちづくりの原点である、「自主性」、「自立性」、「相互理解」、「目的共有」をもとに「住んでよかったと言ってもらえるまちづくり」、「あるべき将来像を実現する故郷づくり」に取り組むことを目指しまちづくり協議会を設立しました。

今後も、「富士見学区明るいまちづくり宣言」の精神を実践する中で、とくにスポーツ、健康づくり、防犯・防災に力を注ぎ、このまちに住んでよかったと言われる住みよい故郷づくりに邁進していきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和4年4月
活動地域	富士見小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 この町に住んでよかったねといわれる住みよい故郷・富士見</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 うるおいのあるまちづくり</li><li>2 健康でしあわせなまちづくり</li><li>3 安全で快適なまちづくり</li><li>4 ふれあいと香り高いまちづくり</li><li>5 豊かで活力のあるまちづくり</li></ol>
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 富士見学区 まちづくり協議会 活動事例

### 富士見学区創立50周年記念事業



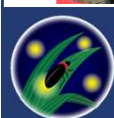
令和6年度は、富士見学区創立50周年にあたり、年間を通して「50周年記念事業」としてイベントを開催しました。各事業、たくさんの住民の方が参加してくださり、50周年記念事業は盛り上がり、学区全体でお祝いすることができました。

イベントを通じて、住民同士の交流や自治会同士のつながりが広がり、もしもの災害時には学区全体で助け合えるような、あたたかい明るい安心安全で住みよい街づくりに繋がったと思います。

また未来を担う子供たちの参加も多く、25年後、50年後と大人になった子どもたちがまたこの富士見学区を盛り上げてくれることを願っています。



映画鑑賞会



ホタルまつり



ふれあい夏まつり



ふじみ健康スポーツフェスティバル&防災訓練



ハロウィンナイト



文化祭



新春マラソン&ウォーキング大会



手づくりまつり



# 晴嵐学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

大津市の南部の玄関口として、JR石山駅や京阪石山駅を有している晴嵐学区は、京阪神経済圏のベッドタウンとして、戸建住宅やマンションの建築が著しく増加し、それに伴い人口は増加していますが、自治会加入率は低下している状況です。

地域のまちづくりについては、住民や各種団体等と連携したコミュニティ型の組織を設立し、自治連合会を核としてまとまって活動をしています。また、各種団体においても、福祉や防災、交通・防犯といったそれぞれの分野の目的に沿って、様々な活動を実施していますが、課題もあります。

そのため、まずは、自治会に関心をもってもらうためにも、地域の行事や情報を発信し、地域住民が地域の情報を共有することが出来る取り組み、更に、住民グループが気軽に集い、交流し、自然にネットワークが生まれる拠点、住民と行政、住民同士、住民と企業との協働を進め、身近な取り組みから地域社会を創造する拠点づくりが必要となってきています。

そこで、晴嵐学区では、各種団体の現状や課題をお互いに共有し、連携して課題解決に取り組むための組織として、まちづくり協議会を設立するとともに、「これからも住み続けたいまち晴嵐」にしていくことを目的として、地域の将来像、基本方針等を定めたまちづくり計画書を策定し、学区全体でまちづくりに取り組んでいきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和4年4月
活動地域	晴嵐小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 これからも住み続けたいまち 晴嵐</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくり</li><li>2 地域住民が互いに手をつなぎ支え合うまちづくり</li><li>3 地域の力で子どもたちを見守り育てるまちづくり</li><li>4 歴史・文化を継承し、活力あるまちづくり</li></ol>
組織図	

# まちづくり協議会の 取り組みについて

## 晴嵐学区 まちづくり協議会 活動事例

### 晴嵐コミュニティ図書室 (略称 晴嵐図書)



12,000冊の蔵書があり、児童書だけでなく大人の方々にも多く利用していただいています。また、月一回はおはなしポケットなどを開催し、紙芝居・大型絵本の読み聞かせなどのイベントも開催しています。



### 晴嵐ふれあいフェスティバル



年1回の晴嵐夏まつりとして開催していましたが、真夏で熱射病の危険もあり、現在は9月に開催しています。参加者も4,000人を超え、屋台も多く出ており大変な盛況ぶりです。



### せいらん文化祭



文化祭は作品展(学区民の作品を展示)・芸能大会(個人及び団体での発表会)・児童絵画展(幼稚園・小学生の絵画を石山商店街加盟の各店舗店先に掲示)として3部に分かれて開催しています。



### 晴嵐の歴史・史跡を巡る スタンプラリー



令和5年度から開催、学区内10か所のポイントを巡るスタンプラリーです。親子での参加が多く、自分たちの住んでいる学区の歴史等、新たな発見につながっています。



### 晴嵐学区 ふれあいマラソン大会



毎年1月に開催しているマラソン大会です。小学生低学年・高学年・中学生・一般と男女別に8部門に分けて約300名が琵琶湖畔沿いに快走しています。





# 大石学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

大石学区は大津市の最南端に位置し、清流と緑に恵まれた中山間部の静かなまちです。宅地開発で人口が増加した時期もありましたが、近年は人口減少に転じています。

山間部の地域では、少子高齢化、核家族化が著しく進み、過疎による生活活動の低下が生まれてきており、このことが自然災害等への対応力の低下にも繋がっています。また、新興団地内においても、旧地域と同様に高齢化、核家族化が進むとともに、若い世代の流出も増加しています。地域の自治会の組織率も60%と低迷し、地域活動に対する関心の低下と、地域ぐるみの防災活動の弱体化などが問題となっています。

大石学区は面積も広く、地域によって現状や課題など問題点が異なることから、学区全体としてコミュニケーションが図りにくく、個々の自治会が分散し、団結しにくい傾向があります。そこで意識的に共通のイベントや課題を見出し、地域意識を高めていくことが必要であると考え、まちづくり協議会を設立しました。

住んでよかった、住み続けたいまち「大石」を地域の将来像として、地域コミュニティをはじめ、健康・福祉、子ども、教育機関への支援、防災、交通・防犯、文化・環境などの分野における課題を共有し、解決に向けた取り組みを進めていくことが必要であると考えています。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和2年12月
活動地域	大石小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】 「緑風、清流と健康の里」住んでよかった、住み続けたい町「大石」</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 自然と共生し、スポーツで健康で文化豊かなまちづくり</li><li>2 地域ぐるみで防犯・防災に対応し、安心して生活できるまちづくり</li><li>3 地域を愛し、他地域の人も温かに触れ合える活力あるまちづくり</li><li>4 地域の歴史・文化を継承し豊かな自然環境にあふれるまちづくり</li></ol>
組織図	<pre>graph TD; S[総会] --- EC[運営委員会]; S --- AS[会計監査]; EC --- SJ[事務局]; EC --- AS2[安全部会]; EC --- AS3[健康・福祉部会]; EC --- AS4[教育・子育て部会]; EC --- AS5[学び部会]; EC --- AS6[地域振興部会];</pre>

# まちづくり協議会の 取り組みについて

大石学区  
まちづくり協議会  
活動事例

## 魚のつかみ取り 魚のさばき方 体験

地域の子どもたちが親子で魚のつかみ取りを体験しました。つかんだ魚は内臓を取って串にさし、炭火で焼き食べました。夏休みの楽しい思い出づくりもでき、地域のスタッフとの交流も深まりました。



## 書き初め 講座

春夏秋冬

初日の出

一期一会





# 仰木の里学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

仰木の里学区は、西には比良・比叡、東には琵琶湖があり、緑と湖に囲まれた自然豊かな環境に位置しています。その一方、京阪神への通勤・通学や買い物などの移動の利便性も高く、自然や立地に恵まれた地域です。

しかし、少子高齢化や核家族化の進行、及び自治会離れなど、地域の現状の変化に伴い、将来的な地域の活力低下や地域活動の継続など、様々な課題を抱えています。

こうした背景のもと、あらゆる世代の住民がつながり、支え合う持続可能なまちづくりや、安心・安全で福祉の整ったまちづくりを目指し、学区内の様々な団体を構成員としてまちづくり協議会を設立しました。

まちづくり協議会において、地域の各種団体が連携しながらまちづくりを推進することで、誰もが「いつまでも住み続けたい」と思える地域を目指して活動に取り組んでいきます。

## 基本情報・組織図

設立年月	令和6年4月
活動地域	仰木の里小学校区域及び仰木の里東小学校区域
まちづくりの基本方針	<p>【地域の将来像】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>あらゆる世代の住民が、つながり、支え合いながら、生き生きと楽しく生活でき、「いつまでも住み続けたい」と言える仰木の里</li><li>子育て世代にも優しく、温かく、魅力と活気にあふれる仰木の里</li><li>安心・安全・福祉・環境の整った仰木の里</li></ol> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>住民が、無理なく持続的なまちづくりに参加できる活動</li><li>地域の防災・防犯・福祉・環境整備を進めていく活動</li><li>子どもや高齢者・障がい者はもとより、多様な人々が参加できる活動</li><li>次世代へつなげていける活動</li><li>明るく・楽しく・健やかな生活が送れる活動</li></ol>
組織図	

# 上田上学区まちづくり協議会

## 設立のきっかけ

上田上学区は、西に琵琶湖文化公園区域、東に信楽の山々に囲まれた盆地形状の田園集落が形成されており、緑に囲まれた自然豊かな環境に位置しています。

上田上では人口減少や少子高齢化が進んでおり、それに伴い、幼稚園・小学校の存続、公共交通機関の廃止、地域の各種団体の存続等、学区のまちづくりにおける様々な課題が生じました。

こうした背景のもと、地域が主体となり、地域の特性や資源を活用しながら、住民や各種団体、事業者等の協力のもと、自立的なまちづくりを進めることを目的として、まちづくり協議会を設立しました。

まちづくり協議会において、団体や世代を超え、地域全体で連携しながらまちづくりを推進することで、愛着と誇りを持てる活力のある地域を目指して活動に取り組んでいます。

### 基本情報・組織図

設立年月	令和7年2月
活動地域	上田上小学校区域
まちづくりの 基本方針	<p>【地域の将来像】</p> <p>上田上に息づく自然・文化の資源を生かしつつ、地域及び近隣の住民との交流を通じて、愛着と誇りを持てる活力のあるまちづくりを推進します。</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 安全で安心してらせるまちづくり</li><li>2 明るく・楽しく・健やかな生活が送れるまちづくり</li><li>3 世代を超えて、つながり、支えあう住民交流が盛んなまちづくり</li></ol>
組織図	<pre>graph TD; A[総会] --- B[地域安全、安心部会]; A --- C[健康福祉子育て部会]; A --- D[人権・生涯学習部会]; A --- E[事務局];</pre>